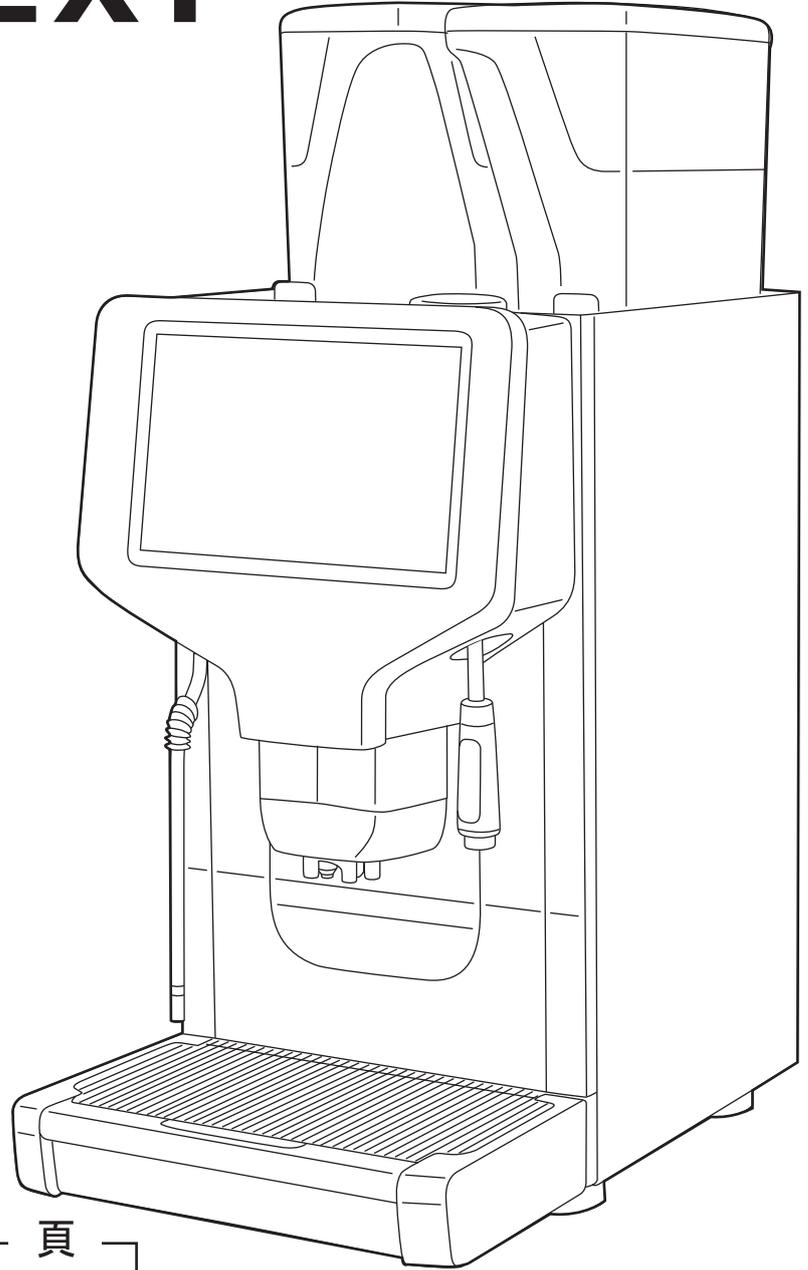


全自動エスプレッソコーヒーマシン

# EGRO NEXT

## 取扱い説明書



### 目次 頁

● 仕様	1
● 安全上の注意事項	2~3
● 各部の名称とはたらき	4~5
● 操作方法	6~7
始業時の準備	6
終業時	6
● コーヒーの抽出	7
熱湯の使用	7
カス受け満杯メッセージ	7
ミルクの使用 <b>Top Milk</b>	8
スチームの使用	8
● 洗浄方法	9~13
● 保証について	裏表紙

このたびはエグロ・NEXTをお求めいただき、誠にありがとうございます。

ご使用になる前に、この説明書をよくお読みいただき、十分にご理解いただいたうえで正しく操作してください。

この説明書は、必要な時にいつでもお読みいただけるようわかり易い場所に大切に保管してください。

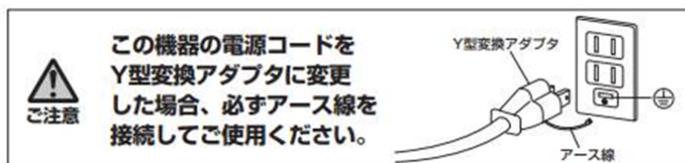
# 仕 様

	egro 全自動エスプレッソコーヒーマシン
モデル	EGRO NEXT PureCoffee、QuickMilk、TopMilk
外形寸法 (mm)	幅300 / 奥行 575/ 高さ 770
重量	57kg
電源	単相200V、50/60Hz
消費電力	2700W
ボイラー容量	コーヒーボイラー：0.4L / スチームボイラー：2L

注意：上記の仕様は、品質向上のため予告なしに変更されることがありますのでご了承ください。



	フリッジ MK6
外形寸法 (mm)	幅300 / 奥行386 / 高さ575
重量	29kg
電源	単相100V、50/60Hz
消費電力	70W
ミルク容量	(専用容器) 6L
冷媒の種類	R600a



## お客様へのお願い

機械の設置の際には、水道給水配管の途中に浄(軟)水器を取り付けて、ご使用ください。これは、水道水のおいさを吸収したりゴミの流入防止やスケール付着を予防する役目があります。また、期的なカートリッジ交換が必要です。交換時期や費用につきましては、販売店またはメンテナンス業者へお問合せください。

(カートリッジ代及び交換作業費は、保証期間中でも有償となります。)  
水道水以外の水を使用しないでください。正しく稼働しない場合が発生したり、トラブルの原因になることがあります。

# 安全上の注意事項

ご使用になる前に この安全上の注意をよくお読みになり、正しくお使いください。  
表示内容は次の通りです。



## 警告

守られないと、重大な人身事故や死亡事故につながる可能性のある事柄。



## 注意

守られないと、人に傷害を与えたり物損事故につながる可能性のある事柄。

これらの警告・注意事項をよくお読みいただき、必ず守ってください。

## 警告

据付工事は、お買い上げ店または専門業者に依頼してください。

アース線は、必ず専用のアース端子に接続してください。

装置を電源に繋ぐ際には、分岐コンセントの使用やタコ足配線はしないでください。

本体に供給する電源の工事を行う場合には電気設備工事の専門技術者が行い、  
電源の容量が不足したり設備工事に不備がないようにしてください。

電源プラグはほこりが付着していないか定期的に確認し、根元まで確実に差し込んでください。

電源は、漏電ブレーカーを施した専用のコンセントに接続してください。

機械に水をかけないでください。漏電する恐れがあります。

水のかかりやすい場所や、湿気の多い場所には設置しないでください。

濡れた手で機械・コード・プラグに触れないでください。

マシンから水漏れ、蒸気漏れを確認した場合、マシンの電源をぬいて販売店へ連絡ください。

すすぎ中は抽出口やノズルに手を近づけないでください。

顔や手、または他人にスチームノズルを向けないでください。

火傷を負った場合、ただちに患部を冷やし、状態に応じて医師に相談してください。

熱い飲み物でやけどをする恐れがあります。

適切なドリンクの容器のみ使用してください。容器の破損及び、火傷の恐れがあります。

吸・排気口などの隙間にもものを入れたり、手を近づけないでください。

小さなお子様や、不慣れな方が機械に触れない様ご注意ください。

機械に異常を感じたら、ただちに運転を中止し、販売店へ連絡のうえ、  
その指示に従ってください。

機械の分解・改造は絶対にしないでください。

修理作業は、専門の修理技術者以外は行わないでください。

廃却は専門業者か、お買い上げの店に依頼してください。

# 安全上の注意事項

これらの警告・注意事項をよくお読みいただき、必ず守ってください。

## 注意

この機械は、本来の目的以外に使用しないでください。

振動の多い場所や、不安定な場所には設置しないでください。

電源は設置場所から 1m 以内に準備してください。

屋外やこれに準ずる場所には設置しないでください。

高熱を発生する機器の周辺や、直射日光のあたる場所、あるいは凍結の恐れのある場所では使用しないでください。

可燃性のスプレーを近くで使用したり、可燃物を置かないでください。

機器の周辺は、およそ 10cm 以上の空間をあけて設置してください。

設置場所の周囲は、水やコーヒーがこぼれてもよい場所を選んでください。

メーカー推奨の電源電圧でご使用ください。

メーカー推奨の水道水圧内でご使用ください。

給水に使用する水は、必ず浄水した水道水を使用してください。

ご使用の浄水器の使用期限を確認し、定期的に浄水フィルターを交換してください。

本機の上に物を置かないでください。

製品にもたれたり、乗ったりしないいでください。

スチームノズルは、装着してある断熱ゴム以外の金属部分に直接手を触れないでください。

運転中、ホッパー内や可動部に手を入れないでください。

清掃・点検時は、必ず電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてから行ってください。

洗浄が不十分な場合、異物混入やマシントラブルの恐れがあります。

マシンを使用する際は、必ずマニュアルに従ってマシンを洗浄してください。

排出口や排水管に詰まりがないか始業時に点検を行ってください。

漏電遮断器は月に 1 回、動作確認してください。

クリーニング時には、必ず専用の薬剤をご使用ください。

使用する洗浄剤のラベルに記載された危険に関する警告を確認してください。

洗浄剤をドリンクに混入させないでください。

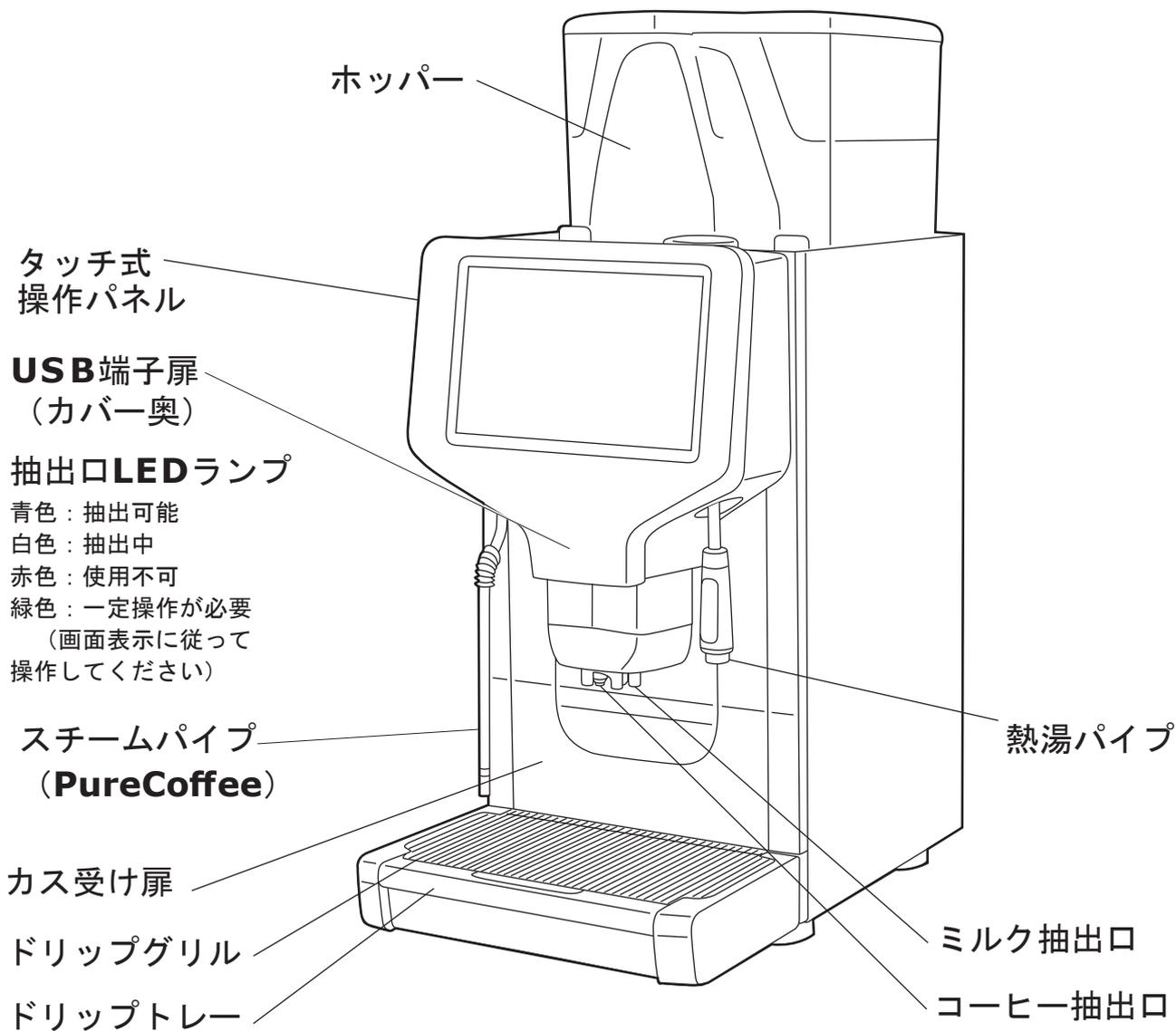
営業終了後など長時間作業者がいない場合は、電源プラグを抜いて水道の元栓を閉めてください。

断水の際はメインスイッチを「OFF(切)」にし、水道栓を閉めてください。

断水が発生した場合や長期間マシン(7 日間以上)使用しない状態が続いた場合、残留物が蓄積することがあります。デイリークリーニングを実施後に使用してください。

設置後に機器の移動は避けて下さい。漏水の原因となります。

# 各部の名称とはたらき



## ホッパー

グラインダーで挽かれる豆を入れておきます。  
およそ1.3kgの豆をいれておくことができます。

## 粉用ホッパー

ホッパーの豆以外のコーヒーを抽出するときに挽いた  
コーヒーを投入します(ストックできません)。

## タッチ式操作パネル (4 ページ参照)

画面をタッチして操作します。

## 熱湯パイプ

お湯を抽出します。

## 抽出口

メニューによって容器の高さにあわせて上下させます。

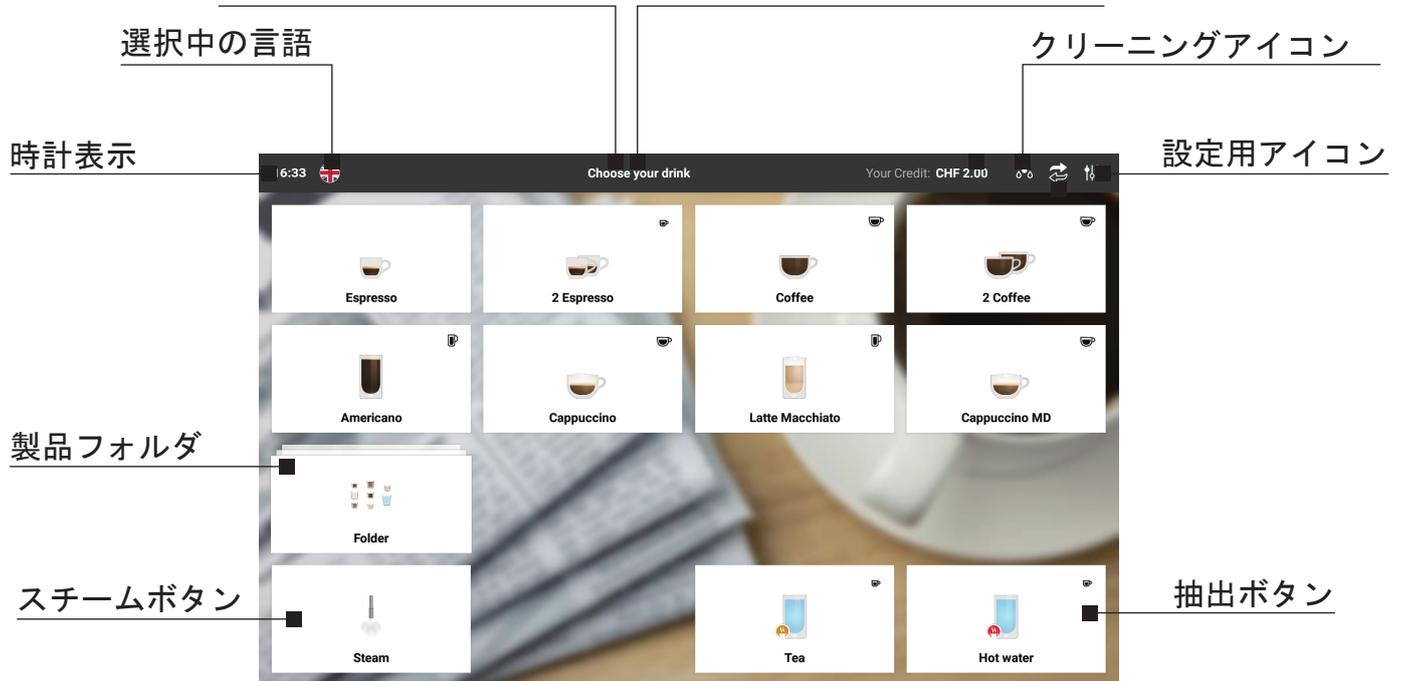
## カス受け扉

カス受け扉を手前に開けると中にカス受けがあります。

## 付属品

コーヒー洗浄タブレット	1 本
ミルク洗浄液 (1L)	1 ケ
排水ホース	1 式
ブラシ	2 本
軽量スプーン	1 ケ
洗浄用コンテナ	1 ケ

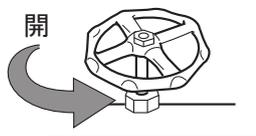
# 操作パネル



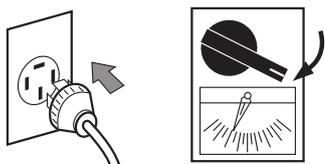
# 操作方法

## 始業時の準備

### 1 水道の元栓を開きます。

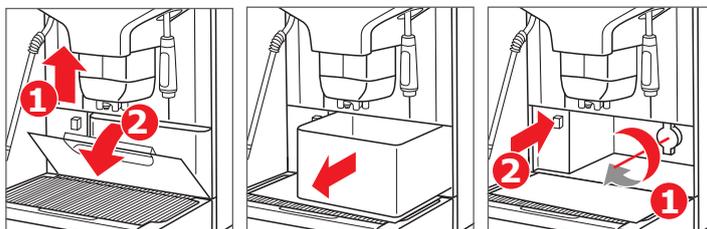


### 2 元電源を確認してください。



(電源プラグを差し込む、配電函のレバーをONにするなど)

### 3 メインスイッチをONにして、給水元栓を開いてください。 メインスイッチは左側に、給水元栓はカス受けの奥面にあります。



1. カス受け用扉を開けて、カス受けを取り出し  
てください。

2. 奥の給水元栓を開き、  
左側のメインスイッチ  
をONにしてください。

3. メインスイッチのLED  
が点灯します。

### 4 カス受けを元通りに取付け、 カス受け用引出しを閉じてください。

カス受け用引出しを閉じると運転が開始されます。  
抽出口LEDランプが赤色に点灯します。

抽出可能状態になるまでに、数回リンスを繰り返し  
返します。(約5～7分水温により異なります)  
この時抽出口よりお湯が出ますので注意して下さい。



注意

抽出口の下には、カップを置かないでください。  
リンス時に抽出口が下降します。

### 5 適温になると操作パネルのディスプレイ上部に “飲料選択”と表示されます。

抽出可能なドリンクのボタンライトが点灯します。

## 終業時

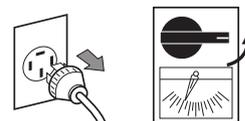
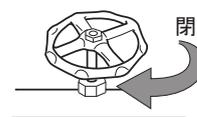
### 1 抽出装置のクリーニングが 終了してから、メインスイッチ をOFFにして、給水元栓を 閉じてください。

1. カス受け用扉を開けて、カス受けを  
取り出してください。
2. 左側のメインスイッチをOFFにして  
奥の給水元栓を閉じてください。

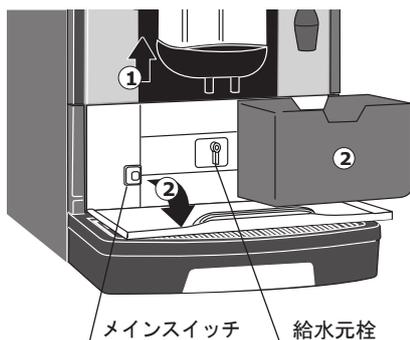
### 2 本体外装の清掃、カス受けの清掃を行ってください。

- 1) 本体は湿ったやわらかい布で拭いてください。
- 2) カス受けのカスを捨て、水洗いしてください。
- 3) ドリフトレーを引き出し、水洗いします。
- 4) カス受け、ドリフトレーの水気を  
よく切ってから元の位置に差し込みます。

### 3 水道の元栓を閉め、 元電源を切ります。



(電源プラグを抜く、配電函のレバーをOFFにするなど)



## コーヒーの抽出

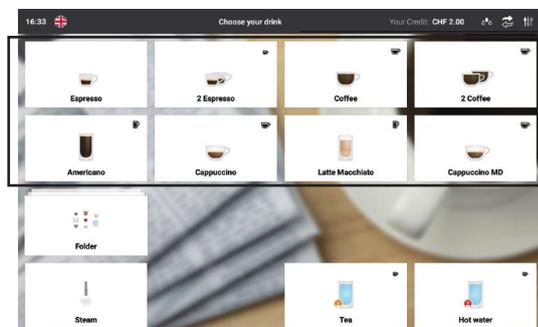
インフォメーションラインに飲料選択が表示され、前面の抽出口LEDランプが青色に点灯していると抽出可能です。

- 1 抽出口の下にカップをセットしてください。



**注意** 抽出ボタンにあったカップを置いてください。カップサイズを間違えた場合、カップが破損する恐れがあります。

- 2 表示されている抽出ボタンの中から、ご希望のボタンを選んで押してください。



飲料選択  
抽出ボタン

## 熱湯の使用

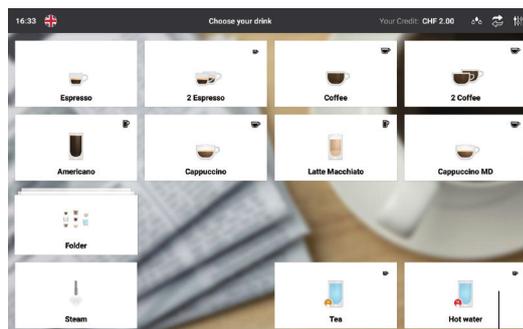
- 1 熱湯パイプの下にカップをセットしてください。



**注意** 抽出ボタンにあったカップを置いてください。カップサイズを間違えた場合、カップが破損する恐れがあります。

- 2 操作パネルの熱湯ボタンを押してください。

- 3 設定された湯量が抽出されます。



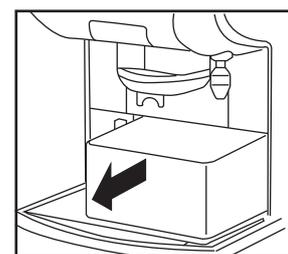
熱湯ボタン

## カス受け満杯メッセージ

操作パネルのインフォメーションラインに引き出しが一杯です。空にしてくださいの表示が出たときは下記の手順でカス受けのカスを空にしてください。



- 1 カス受け用扉を開けて、カス受けを取り出してコーヒーカスを捨ててください。
- 2 カス受けをマシン本体にセットして扉を閉めてください。
- 3 操作パネルに下記メッセージが表示されます。次へを押してください。



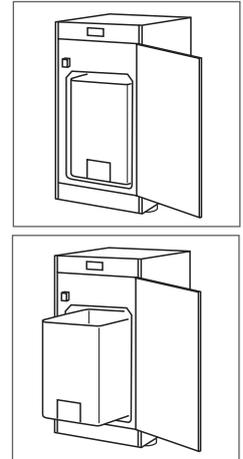
豆かすの引き出しを空にしましたか？

次へ

# 操作方法

## ミルクの使用 Top Milk

- 1** 保冷庫の扉を開けます。  
ミルクコンテナを触る際はアルコール消毒済みの清潔な手で行ってください。
- 2** ミルクコンテナを取出し、ミルクチューブを抜き、上蓋を外しミルクを入れます。
- 3** 上蓋を戻し、上から出ているチューブが折れないようにミルクに差し込みます。  
ミルクチューブが折れていると吸い上げません。
- 4** 保冷庫の扉を閉めてください。



### ミルクが出ない場合

- ・ミルクチューブが折れていないか確認してください。
- ・抽出口を外し洗浄を行ってください。
- ・クリーニングメニューのミルクユニットの作動をしてください。



## スチームの使用

### スチームの使用（Pure Coffee、Quick Milkのみ）

冷たい飲み物を温めたり、ミルクを泡立てたりするときに使用します。

- 1** スチームノズルを、あらかじめドリフトトレイに向けておいてください。
- 2** 操作パネルのスチームボタンを押して、水抜きをしてください。  
押さえている間、熱湯が勢い良く飛び出しますのでご注意ください。
- 3** 蒸気が出るようになれば、スチームボタンを押してスチームを止めて、スチームノズルを飲料の入った容器に入れてください。
- 4** スチームボタンを押して温めます。  
止めるときは、再度スチームボタンを押してスチームが止まってから、容器をノズルからはずしてください。  
オプションのiスチーム使用の場合は設定された温度で自動停止いたします。
- 5** 使用後はスチームノズルに付着した液を、水でしぼった清潔な布で拭き取ってください。
- 6** その後もう一度スチームボタンを押して、空吹き動作を行ってください。  
そのままにしておきますと、ノズル内に付着した液（ミルクなど）が固まり、不衛生ですし、ノズル内が詰まり、故障の原因になることがあります。



注意

スチーム使用に際しては、はじめにパイプ内に結露した水（湯）が出ますのでヤケドに注意してください。

スチームの使用・使用直後は、スチームパイプが高温になりますのでヤケドに注意してください。

注意

スチーム使用後はパイプ・ノズルを湿った布でよく拭きスチームの空だしを行ってください。

（パイプ内にドリンクが詰まり異臭発生や故障の原因となります。）

# 洗浄方法

## 洗浄（クリーニング）モードの入り方

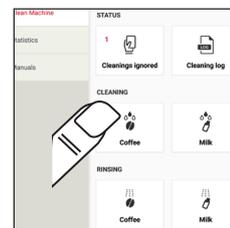
- 1** 設定用アイコンを選択します。



- 2** オペレータメニューを選択し、パスワードを入力します。  
(パスワード: 1・2・3・4) 移動を押す。



- 3** 必要なクリーニングを選択します。  
メニューは下記参照



### ■クリーニングメニュー



- ☉ コーヒーラインのクリーニング
- ☉ ミルクラインのクリーニング
- ☉ コーヒー&ミルクラインのクリーニング
- ☉ コーヒーラインのすすぎ
- ☉ ミルクラインのすすぎ
- ☉ パウダーラインのすすぎ
- ☉ 抽出口のクリーニング

## 毎日の清掃 TOPMLK洗浄方法 洗浄時間：約10分

クリーニングには以下の準備が必要です。

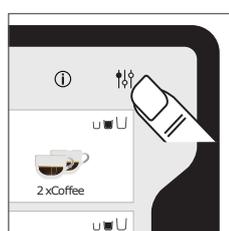
- ・タブレット洗浄剤×1錠
- ・ミルクライン洗浄剤
- ・清掃用コンテナ(付属品) ・その他、必要に応じて布巾など



注意

洗浄は必ずコーヒーマシンが適温になっている状態から実施してください。  
適温になっていないと洗浄（クリーニング）を進めることができません。  
当社指定の薬剤をお使いください。

- 1** 設定用アイコンを選択します。



- 2** オペレータメニューを選択し、パスワードを入力します。  
(パスワード: 1・2・3・4) 移動を押す。



- 3** コーヒー・ミルク洗浄を選択します。



# 洗浄方法

## 毎日の清掃 TOPMILK 洗浄方法 洗浄時間：約10分

クリーニングには以下の準備が必要です。

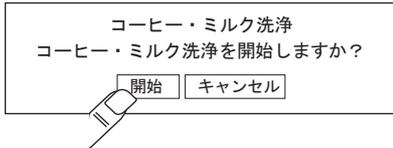
- ・タブレット洗浄剤×1錠
- ・ミルクライン洗浄剤
- ・清掃用コンテナ（付属品） ・その他、必要に応じて布巾など



**注意**

洗浄は必ずコーヒーマシンが適温になっている状態から実施してください。適温になっていないと洗浄（クリーニング）を進めることができません。当社指定の薬剤をお使いください。

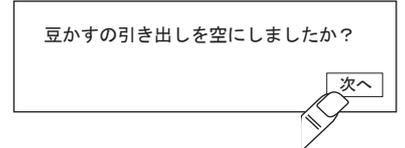
### 4 “コーヒー・ミルク洗浄を開始しますか？”がディスプレイに表示されます。“開始”を選択します。



前面のドアを開けコーヒーカスを捨て、マシン本体にセットします。



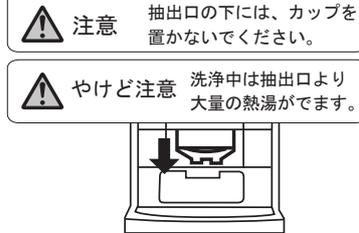
“豆かすの引き出しを空にしましたか”がディスプレイに表示されます。“次へ”を選択します。



### 5 洗浄タブレットをマシン本体に入れ“次へ”を選択します。



### 6 抽出口が下降しコーヒー経路の清掃を開始します。

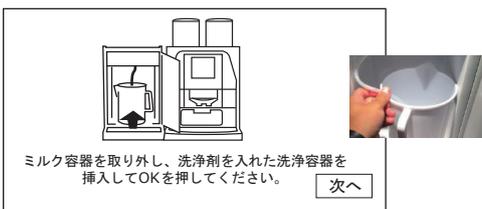


### 7 コンテナを取外してミルクチューブを洗浄しますが表示されます。ミルクチューブを取り外して洗浄後次へを押してください。

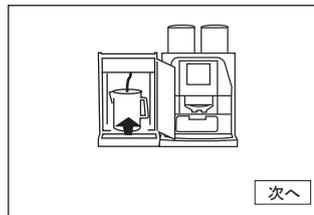


ミルクチューブ

### 8 ミルク容器を取り外し、洗浄コンテナに洗剤40ml（キャップ1杯）を入れてミルククーラーにセットして次へを押してください。ミルク経路の清掃を開始します。



### 9 洗浄用容器を取り外します。次へを押してください。



### 10 ミルククーラー内、ミルクチューブ付近を清掃してください。



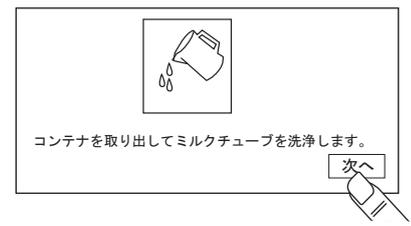
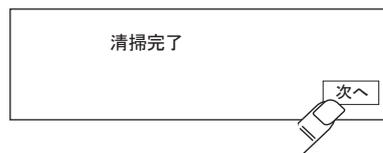
**注意**

洗浄用コンテナには洗剤のみを入れてください。

### 11 ミルクコンテナをクーラー内にセットして“次へ”を押してください。



### 12 ディスプレイに“清掃完了”が表示されますので“次へ”を押してください。



## 毎日の清掃 QuickMilk 洗浄方法

洗浄時間：約10分

クリーニングには以下の準備が必要です。

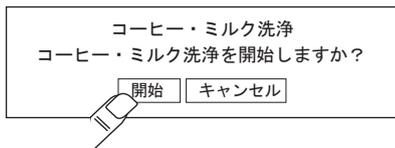
- ・タブレット洗浄剤×1錠
- ・ミルクライン洗浄剤
- ・清掃用コンテナ(付属品) ・その他、必要に応じて布巾など



**注意**

洗浄は必ずコーヒーマシンが適温になっている状態から実施してください。適温になっていないと洗浄(クリーニング)を進めることができません。当社指定の洗浄剤をお使いください。

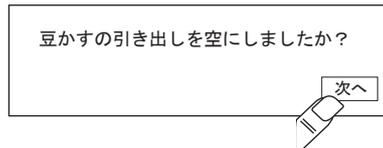
### 4 “コーヒー・ミルク洗浄を開始しますか?” がディスプレイに表示されます。“開始”を選択します。



前面のドアを開けコーヒークラスを捨て、マシン本体にセットします。



“豆かすの引き出しを空にしましたか” がディスプレイに表示されます。“次へ”を選択します。



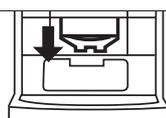
### 5 洗浄タブレットをマシン本体に入れ“次へ”を選択します。



### 6 抽出口が下降しコーヒー経路の清掃を開始します。

**注意** 抽出口の下には、カップを置かないでください。

**やけど注意** 洗浄中は抽出口より大量の熱湯がでます。



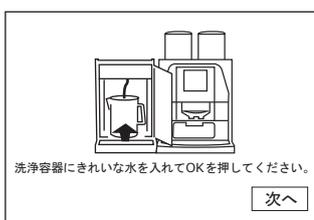
### 7 コンテナを取外してミルクチューブを洗浄しますが表示されます。ミルクチューブを取り外して洗浄後次へを押してください。



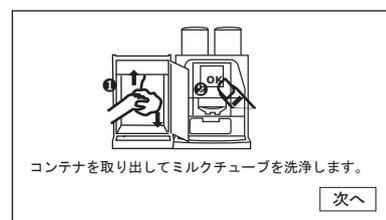
### 8 ミルク容器を取り外し、洗浄コンテナに洗剤40ml(キャップ1杯)と水400ccを入れてミルククーラーにセットして次へを押してください。ミルク経路の清掃を開始します。



### 9 洗浄用容器をきれいに洗います。すすぎの水1L以上入れ次へを押してください。



### 10 ミルククーラー内、ミルクチューブ付近を清掃してください。



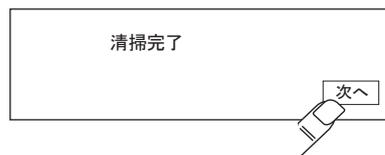
**注意**

洗浄用コンテナには洗剤と水を入れてください。

### 11 ミルクコンテナをクーラー内にセットして“次へ”を押してください。



### 12 ディスプレイに“清掃完了”が表示されますので“次へ”を押してください。



# 洗浄方法

## 毎日の清掃PureCoffee洗浄方法

洗浄時間：約10分

クリーニングには以下の準備が必要です。

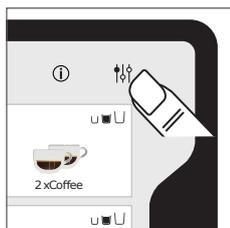
- ・ タブレット洗浄剤 × 1錠
- ・ 清掃用コンテナ（付属品）
- ・ その他、必要に応じて布巾など



注意

洗浄は必ずコーヒーマシンが適温になっている状態から実施してください。適温になっていないと洗浄（クリーニング）を進めることができません。当社指定の洗浄剤をお使いください。

- 1** 設定用アイコンを選択します。



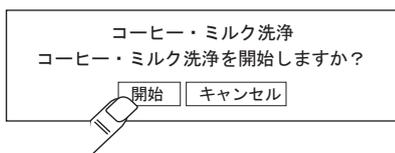
- 2** オペレータメニューを選択し、パスワードを入力します。  
(パスワード: 1・2・3・4) 移動を押す。



- 3** コーヒー洗浄を選択します。



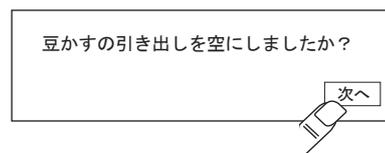
- 4** “コーヒー・ミルク洗浄を開始しますか？”がディスプレイに表示されます。“開始”を選択します。



前面のドアを開けコーヒークラスを捨て、マシン本体にセットします。



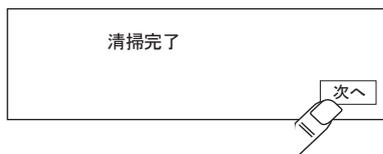
“豆かすの引き出しを空にしましたか”がディスプレイに表示されます。“次へ”を選択します。



- 5** 洗浄タブレットをマシン本体に入れ“次へ”を選択します。



- 6** ディスプレイに“清掃完了”が表示されますので“次へ”を押してください。



## 毎日の洗浄 スチームノズルの洗浄方法

洗浄時間：約10分

オプションのiスチームも同様の手順になります。

クリーニングには以下の準備が必要です。

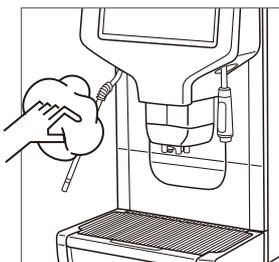
- ・ ミルクライン洗浄剤
- ・ コンテナやピッチャー
- ・ 布巾
- ・ 必要に応じてブラシなど



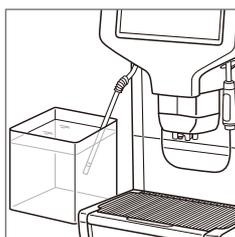
**注意**

洗浄は必ずコーヒーマシンが適温になっている状態から実施してください。適温になっていないと洗浄（クリーニング）を進めることができません。当社指定の洗浄剤をお使いください。

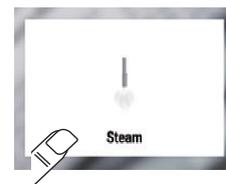
- 1** 固く絞った布巾でスチームノズル先端を拭いてください。



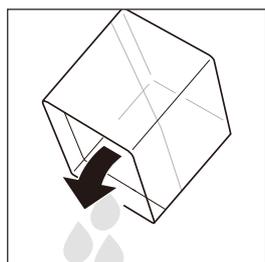
- 2** 約5cmの深さになるまでコンテナに冷水を入れ、5%の濃度になるように洗浄剤を注ぎます。  
(例 冷水:400ml 洗浄剤:20ml)



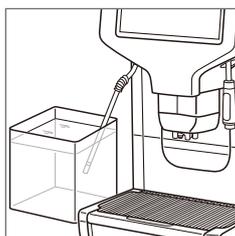
- 3** スチームをタップし約50℃で停止させ、そのまま5分間漬け込みます。



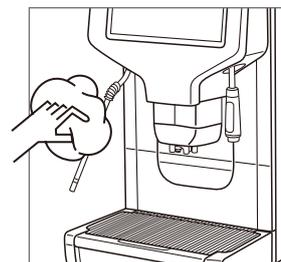
- 4** 洗浄液を捨て、コンテナを十分にすすいでください。



- 5** きれいな水で浸して10秒間スチームします。5回以上水を入れ替えてスチームしてください。



- 6** 固く絞った布巾でスチームノズルを拭いてスチームを空ぶかしをしてください。先端の穴が汚れていた場合はブラシ等で清掃してください。



**注意**

スチーム使用に際しては、はじめにパイプ内に結露した水（湯）が出ますのでヤケドに注意してください。スチームの使用後・使用直後は、スチームパイプが高温になりますのでヤケドに注意してください。規定時間以上の漬け込みや、十分なすすぎ、水の入れ替えが出来ていないと薬剤が残ります。

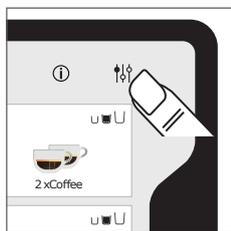
# 洗浄方法

毎日の清掃

抽出口の洗浄方法

洗浄時間：約 10 分

- 1** 設定用アイコンを選択します。



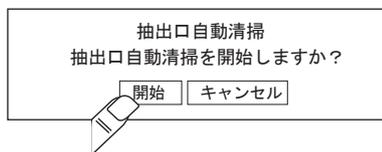
- 2** オペレータメニューを選択し、パスワードを入力します。  
(パスワード:1・2・3・4) 移動を押す。



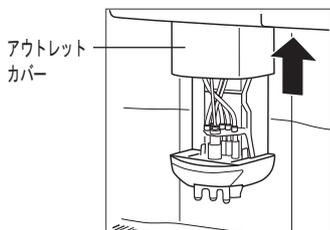
- 3** 抽出口自動洗浄を選択します。  
(Quic kMilkは手動での昇降)



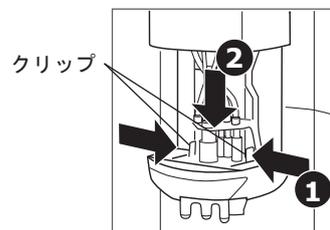
- 4** “抽出口自動清掃を開始しますか？”がディスプレイに表示されます。“開始”を選択します。



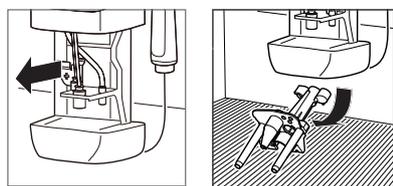
- 5** 抽出口が自動で降りてきます。アウトレットカバーを上げてください。



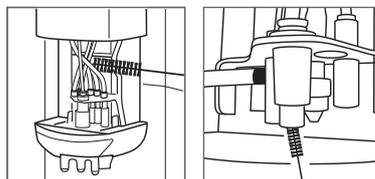
- 6** クリップを内側に押し込み、アウトレットを下に動かしてサポートから取り出します。



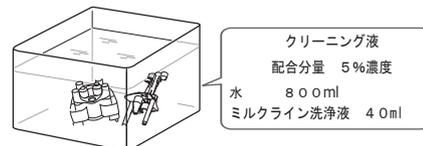
- 7** 4つのクリップを手前に引き、下に下げて外します。



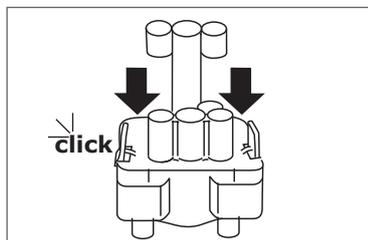
- 8** ブラシでクリーニングします。



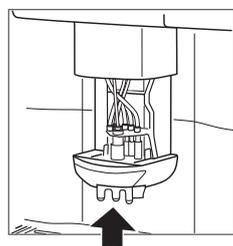
- 9** 取り外したアウトレットを下図の通りに浸け置き洗浄を5分間行ってください。  
洗浄後は、十分すすぎをし、水気を切ってください。



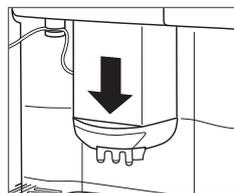
- 10** アウトレットを取り付けます。アウトレットを1つにまとめてロックします。



- 11** アウトレットをサポートに差し込んでロックします

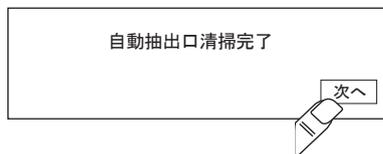


- 12** アウトレットカバーを引き下げます。



チューブを曲げないように引き下げてください。

- 13** “自動抽出口清掃完了”が表示されますので“次へ”を押してください。



# 安全上の注意事項

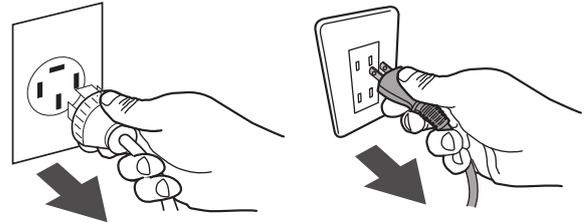
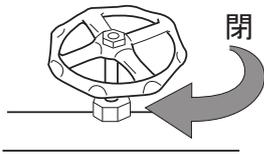
コーヒーマシンを安全にご使用いただくために営業終了後など長時間作業者がいない場合は必ず下記の作業の実施をお願い致します。

## 終業時の手順

**1** マシンの電源を**OFF**にしてください。

**2** 電源プラグをコンセントから抜いてください。

**3** 止水弁を閉めてください。



※電源コードをもって抜かないでください。  
濡れた手で電源プラグに触れないでください。

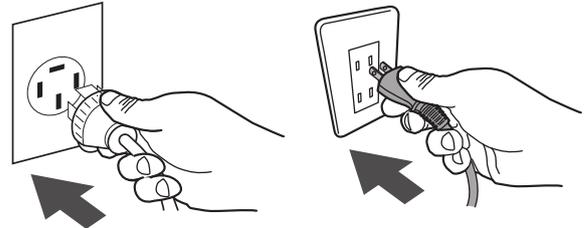
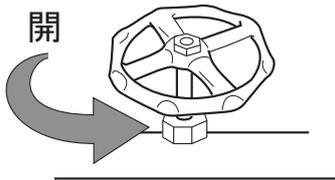


電源プラグは水がかからない場所で保管してください。

## 始業時の手順

**1** 止水弁を開けてください。

**2** 電源プラグをコンセントに差し込んでください。



※濡れた手で電源プラグに触れないでください。  
電源はアース付きの専用のコンセントに  
取り付けてください

**3** マシンの電源を**ON**にしてください。



# 製品保証書

型式	機番	保証期間
お客様様	お名前 様	お買上げ日より1年
	ご住所 〒	お買上げ日
	電話 ( ) -	* 年 月 日
*販売店名		
住所		
電話 ( ) -		

本書はお買上げ日から上記期間中に故障が生じた場合に、本書下記記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。詳細は下記をご参照ください。ご販売店さまへ：\*印欄は必ず記入してお渡しく下さい。

## 無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。無料修理をご依頼になる場合には、お買上げ店にお申し付けください。
- 保証期間内でも次の場合には有料にさせていただきます。
  - (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による、故障及び損傷。
  - (ロ) お買上げ後の取付け場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷。
  - (ハ) 火災、地震、水害、落雷その他の天災地変及び公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷。
  - (ニ) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷。
  - (ホ) 本書のご提示がない場合。
  - (ヘ) 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
  - (ト) 遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する費用。
- この製品の補修用性能部品の保有期間は製造打切後5年です。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
  - \* この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買上げの販売店にお問い合わせください。

**ラッキーコーヒーマシン** 株式会社

本社 〒658-0023 神戸市東灘区深江浜町95番 TEL(078)451-8300 FAX(078)451-5777

事業所については  
こちらをご覧ください

